

鹿児島県鹿児島市方言の副助詞

木部 暢子

I. はじめに

1. 調査対象地域：鹿児島県鹿児島市は、鹿児島県の県庁所在地である。鹿児島県本土のほぼ中央部に位置し、県の政治・経済・文化の中心をなしている。人口は 544,776 人（平成 7 年 7 月 1 日現在）で、県の人口の約 3 分の 1 が鹿児島市に集中している。
2. 調査年月日：1998 年 6 月 10 日 12:30～13:30 6 月 24 日 12:30～13:30
3. 話者：池田 フサ子 昭和 10 年 7 月 3 日生（63 歳）
4. 調査者・調査場所：木部 暢子 鹿児島大学
5. 調査方法：統一調査票による質問調査
6. その他：アクセントは上がり目を「[]」で、下がり目を「] 」で表す。

II. 調査結果

(1) 添加・例示・提題などをあらわすもの

A. 添加《さえ・も》

1. 雨だけでなく風さえ吹いてきた。

○アメバッカイ[ジャ] ナカッセ[エ] カ[ゼ]モ [フッ] キ[タ]

2. 今年は豊作で、米ばかりか麦もよくとれた。

○コ[ト]シャ ホーサ[ク]デ コメバッカイ[ジャ] ナ[カ] ムッ[モ] トレ[タ ナー]

B. 予想外の事実《さえ・だけ》

3. 小学生でさえ簡単にワープロを使っている。

○コドンデサ[エ]モ カンタン[ニ] ワープ[ロ]オ [ツ]コ チョッ

4. (宝くじが) 当たると思っていなかっただけに嬉しい。

○[ア]タッ チ オ[モ] チョランヤッ[タ]デ ウレ[シー]

C. 条件《さえ》

5. 暇さえあれば釣りに行っている。

○ヒマ[サ]ケ アレ[バ ツイ]ケ [イ]タッ チョッ

D. 例示《でも・ほど・まで・など・やら・なり・なんて》

6. まあお茶でも飲んでください。

○[マー] {①チャ[デン] ②チャ[ドン]} ノンクイ[ヤイ]

7. みやげにはこのまんじゅうなどどうかな。

○ミヤゲ[ニャ コ]ン マンジュナン[カ] イ[ケン] ジャロ [カイ]

8. 思わず跳び上がるほど嬉しかった。

○オモワ[ズ] トンビヤガイ[ホ]ド ウレシカッ[タ]

9. まさかあなたにまで話が行くとは思わなかった。

○マ[サ]カ オハン[ズイ] ハナイ[ガ] ツ[タ]ワッ [ト]ナ オモワンジャッ[タ]

10. なぐるやら蹴るやらの乱暴をはたらいた。

○ウツタイケツタイ[ノ] ランボー[オ] ハタ[ライ]タ

11. 私になり相談してくれれば良かったのに。

○アタイセ[エ]デン ソー[ダン シッ] クイヤ[レ]バ ヨカッ[タ] トニ

12. 野菜なんていくらでもできる。

○ヤセナン[カ] ドシコ[デン] デ[クイ] ガ

一対の語の例示《だって》

13. しょうゆだってみそだって作っていたんだ。

○ショー[ユ] ヤッ[テン] ミ[ソ] ヤッ[テン] ツ[クッ] チョッタ

択一《なり》

14. 私なり弟なりがお手伝いに行きます。

○ア[タイ]デン オトッ[デン] カ[セ イッ] デ

例外でない《とて》

15. 村長とて、そうするより仕方なかったんだらう。

○[ソン]チョ ヤッ[テン ソ]ゲン スイ[ヨッ]カ シカ[タ]ガ ナカッタカ[モ ナ]ー

列挙《も》

16. 春らしくなって、梅も桜も一度に咲いた。

○ハルラシ[ク] ナッセ[エ] ン[メ]モ サク[ラ]モ イッド[キ] サイ[タ]

同類の暗示《も》

17. テレビもそろそろ買い替えよう。

○テレ[ビ]モ [ボッ]ボッ カイカエン[ナ]ラ

やわらげ《でも》

18. まあお茶でも飲んでください。

○[マー] {①チャ[デン] ②チャ[ドン]} ノンクイ[ヤイ]

E. 包括《など》

19. 盆には子や孫などが帰ってくる。

○ボンニ[ナ] コ[ドン]ヤ マゴナンド[ガ] カ[エッ] クッ[デ]

F. 提題《だって》

20. ゲートボールだってできるよ。

①ゲート[ボー]ル ジャッ[テン] デ[クッ] ド

②ゲート[ボー]ル ヤッ[テン] デ[クッ] ド

話題にあげる《って》

21. 何だい、いいことって。

○[ナイ] ヨ ヨカ[コッ] チ

極端なものの提示《でも・くらい・すら・も》

22. そんなこと子供にでもできるよ。

○[ソ]ゲン コ[チャ] コ[ドン]デン デ[クッ] ト オ

23. 食べることくらいは何とかしたい。

○タ[モッ] コッグ[ライ] ワガ[デ スッ] ド

24. 名前すらろくに覚えていない。

○ナマエ[ス]ラ ロ[ク]ニ オボエ [チョ]ラン

25. 弁当代に千円もかかった。

○ベント[ダイ]ニ センエン[モ] カカッ[タ]

軽いものをあげる《さえ》

26. これさえあればもう大丈夫だ。

○コイ[サ]エ アレ[バ モー] ダイ[ジョッ ジャッ] ガ

(2) 分量・程度・基準などをあらわすもの

G. 分量・程度《ほど・くらい・ばかり》

27. 旅行で三日ほど家をあけた。

○リョ[コー]デ ミッカ[バツ]カイ [ウ]チ オラン[カッ]タ

28. 茶碗に半分くらいください。

○チャワン[デ] ハンブンバツ[カイ クイ]ヤイ

29. 子供にでもわかるくらいのやさしい本だ。

○コドン[ニ]デン ワカイヨ[ナ] ヤ[サ]シ [ホン] ジャッ ガ

30. 一週間ばかり留守にするので頼むよ。

○イッシュカン[バツ]カイ オ[ラン]デ タノン[デ ナ]ー

H. 基準《ほど》

31. 今年の寒さは去年ほどではない。

○コ[トイ]ノ サンサ[ア] キョネンノヒ[コ] ナ[カ] ド [ナ]ー

I. 理由《ばかり》

32. ちょっと油断したばかりにとんでもないことになった。

○[チッ]ト [ユ]ダン シタバツ[カイ]ニ ツンガ[ネ] コテ ナッ[タ]

J. 「それにふさわしく」《だけ》

33. 苦勞しただけあって人間ができています。

○ク[ロー] シタ[ヒ]コ ニンゲン[ガ] デケ [チョ]ライ [ナ]ー

形式名詞的用法《なんか》

34. 毎日孫の守やなんかで忙しい。

○メ[ニッ] マゴンモイヤ[ラ] ナイヤラ[デ] イソガ[シー]

「それこそ」《こそ》

35. それこそバケツをひっくりかえしたような大雨だ。

○ソイ[コ]ソ バ[ケ]チュ ヒックイカヤイ[ヨ]ナ ウ[ア]メ ヤッ[タ]

「～ばかりか」《ばかり》

36. 父ばかりか母もスポーツ好きだ。

①オッチャンバッカイ[ジャ] ナカッセ[エ] オッカシ[モ] スポー[ツ]ワ [スッ] ジャ

②オッチャン[モ] オッカシ[モ] スポー[ツ]ワ [スッ] ジャ

K. 今にも行われる《ばかり》

37. もう食べるばかりにしてある。

○[モー] タモイバツ[カイ シッ] アッ [ド]

動作の完了直後《ばかり》

38. 今、仕事から帰ったばかりだ。

○イ[マ] シゴッ[カラ] カエッキ[タ] バツ[カイ] ヨー

基準《まで》

39. 駅までもうちょっとだ。

○[イェッ]ズイ モチッ[ト] ヤッ [ド]

L. 等量の反復《ずつ》

40. 一人ずつ呼んで話をした。

○ヒトイ[ズッ] ヨシ[セ]エ ハナシ[オ シ]タ

M. 等量の配分《ずつ》

41. 一人に二個ずつみかんをやる。

○ヒトイ[ニ] フ[タッ]ズッ ミカン[ノ ヤ]-ッ

(3) 限定・限界などをあらわすもの

N. 限定《しか・だけ・ばかり・きり》

42. 酒はたまにしか飲まない。

○ショチュ[ワ] マネケン[シ]カ ノ[マン]

43. 今朝は寝坊をしてパンだけ食べて来た。

○ケ[サ] ネスギッ[セ]エ パン[バツ]カイ [タ]ベッ キ[タ]

44. そんなに勉強ばかりしていると体に毒だよ。

○[ソ]ゲン ベンキョ[バツ]カイ [シ] ヨッ ト カラ[ダ]オ ウック[ヤイ] ド

45. うちの田が残っているきりで、よそは全部終わった。《田植えのこと》

○アタイ[ゲ]エン トガ ノ[コッ] チョイバツ[カイ]デ [ヨ]ソン [シ]ワ [ミン]ナ
[スン] ジョイ ガ

O. 強調《しか・こそ》

46. もうこれだけしかないよ。

○[モー] コヒコシ[カ] ナ[カ] ヨー

47. 今年こそいい年にしたい。

○コトヒ[コ]ソ ヨ[カ] ト[シ] シ[タ]カ

P. 限界《だけ・まで》

48. これだけ言っても分からないのか!

○コシ[コ ヌ]テン ワカ[ラン] ト カ

49. 2千円くらいまでなら何とかなる。

○ニセンエンバックカ[ヤ] イケン[カ ナイ] ガ

(4) 陳述的なもの

Q. 「～ば～だけ」

50. 肥料をやればやるだけよく育つ。

○コエ[オ] ヤ[レ]バ ヤイ[ダ]ケ ヨ[カ] フイ ソ[ダッ] ガ

「仮定形・ば・こそ」《こそ》

51. 心配すればこそ言うんだ。

○[シン]パイ スレバ[コ]ソ [ユ]ー タイ ガ

「こそ・仮定形」《こそ》

52. 彼は文句こそ言え、人の言うことなど聞かない。

○アン[ヤ]チャ モンク[バツ]カイ ユッ[セ]エ ヒトン[コ]チャ [キ]カン [ヤッ]
ジャライ [ナ]ー

53. 「～でこそあれ《コサレなども》」という言い方はありますか。 ○ない。

「未然形・ば・こそ」

54. 押しても引いても動かばこそ。

○[オシ]テン [ヒー]テン ウゴ[カン] ド [ナ]ー

「こそ～。」《こそ》

55. 失礼なことを言わないでこそ。

○ゴブレーサア[ナ] コ[ト] イ[ワン]ジ

「～こそ～が」《こそ》

56. 今でこそ家から出ないが、昔はよく出歩いていた。

○イマデコ[ソ] ウッ[カ]ラ デラン[ドン] ム[カ]シャ [ユ] デアルイ [チョッ]タ

「～ば～ほど」《ほど》

57. 働けば働くほどもうかる。

○ハタラ[ケ]バ ハタラッ[ホ]ド モー[カッ] ド

R. 打ち消しとの呼応《まで》

58. 村長に聞くまでもないことだ。

○ソンチョ[サン]ニ {①キッ[ヨ]ナ ②キッ[ホ]ドン} コッデ[モ] ナ[カ]
否定との呼応(それさえもない)《も》

59. 朝から忙しくて昼飯も食えない。

○アサカ[ラ] イソガシュシ[テ] ヒン[メイ]モ クダサン[ジ]
否定的取り上げ《など》

60. こんなものなどいくらでもあるよ。

○[コ]ゲン モン[ナ] ドシコ[デン アッ] ド
全面否定《だって》

61. 誰だってそんなことを言われたら怒るよ。

○ダイ[ジャッ]テッン [ソ]ゲン コ[チョ] イ[ワ]ルッ ト ハラ[カッ] ド

S. 次の動作が不可能《きり》

62. 10年前に故郷を離れたきり、一度も帰っていない。

○ジュー[ネン] マエ[ニ] ワガエ[オ] ハナレタ[ギー] モドッ [チョ]ラン

(5) モダリティー的なもの

T. 不確かな気持ち《やら・か》

63. いつのまにやら眠ってしまった。

○イッノマニ[カ] ケ[ネッ] シモ[タ]

64. 何のことか分からない。

○ナイ[ノ] コッ[カ] ワカ[ラン]

推定《か》

65. 後で遊びに行くかもしれない。

○アト[デ] ア[スッ]ケ クイカ[モ シ]レン

どちらか分からない《やら》

66. 来るのやら来ないのやらよく分からない。

○[クッ] ト [ヤ]ラ [コン] ト [ヤ]ラ [ヨ] ワカ[ラン]

はっきり言わない《やら》

67. どこへやら引っ越したそうだ。

○ドッカ[エ] イッ[キャッ]タ ヨシ ジャ

U. 非難《たら・てば》

68. お父さんたら今日も遅いのね。

○トー[チャン]ナ キュ[モ オ]セ ド [ナ]ー

69. お父さんてば、子供のようなことを言って。

○[トー]チャン チ コドンノ[ヨ]ナ コ[ト] ユッ[セ]エ